

夢に向かって

長崎市立愛宕小学校

校長 中村 秀一郎

電話 826-6062

教育目標 あたたかく たくましい 心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

桃色いっぺん 桜草の香



御卒業・進級、おめでとうございます。

春になりました。窓を開けていても堪えられる寒さです。

学校がいつもお世話になって
いる牛津様が、

この頃になるとプランターに育てたサクラソウを運んで来てくださいます。春の訪れをサクラソウの香りで知らせてくれているかのようで、毎年、うれしくなります。

サクラソウは、小さな花の集合体で美しさを感じます。学校や学級という集合体も同じような気がします。一人一人の子供が自分を表現して「その子らしさ」を増すことで、その成就感（満足感）を得、成長が加速するように感じています。校長として、一つ一つが輝き続ける集合体づくりを目指してきましたが、道半ばのように感じてしまい、今頃になって改善点が見えてきます。

私事で恐縮ですが、五年間お世話になった愛宕小学校を今年度の卒業生と同じに卒業します。元気そうに振舞っていましたが、年齢はだますることができず退くことが残念でなりません。

保護者の皆様、地域の皆様、卒業した関係者の皆様、5年間たいへんお世話になりました。そっと助けてくださる皆様には、感謝の念しかありません

子どもへの思い

子供たちに、今までいろいろなことをメッセージとして伝えてきました。3月の終わりに願うことは次のようなことです。

一番大切なものは命

子供たちは一年の間に何回となく聞いていますし、「一番大切なものは～？」と尋ねると「いのち」と答えることができるようになっています。今後も事ある毎に、安全最優先で生活を送ってほしいです。

目標に向かって努力する



頂上の「にこにこ」笑顔に到達できるよう、努力している姿を念頭に置き、その順を考えてみました。

1 「夢（目的）」や「憧れ」をもつ。

(1)大人から見ると、「そんな夢は叶えられないから別のがよいなあ」と思っても、子供が自分で描いたことを大切にしてください。年齢が上がってくると、だんだんと現実味を帯びてきます。

2 夢への小さなハードルを設定する。

- (1)ハードルが目標となる
- (2)目標は口に出して、他人の目を感じる
- (3)目標は多方面にわたる

①近い・遠い目標の設定

②技術的・内面的な目標の設定

③努力で叶うことをたくさん設定

(4)見えない努力を忘れずに！